

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
35106	TOEICリーディング TOEIC Reading	鈴木 尊士		専門	1	選択	1・2後期

科目の概要

この授業では、TOEICのリーディング問題について学習し、点数アップをねらいます。TOEICは英語能力試験の中でも利用される頻度が高く、社会人になってもキャリアアップのために必要なことが多い試験です。身近な話題であるスポーツをアスリートを通して、英語の基礎文法の再確認をしながら、自信をもってリーディングに取り組んだりする。リーディングパートの学習を通して、社会人基礎力ととpisa型学力の発揮方法、建学の精神の実践方法を修得し、自分の可能性を広げましょう。
この授業は、ディプロマ・ポリシーの①④⑤に相当する。これらを身に付けるために行う。

学修内容	到達目標
① リーディングの問題を解く。 ② リーディング問題解答のコツ、ポイントを学修する。 ③ 文法を学修すると同時に、まとまった文章を読み取ることを学修する。 ④ 単語を増やす。 ⑤ 授業とともに予習・復習をしながら、学習習慣を身につける。	① 毎回問題を解いていくことで、時間配分を工夫することができる。(ディプロマ・ポリシー②③に相当する) ② TOEICのリーディングや海外に行った際に書類等を読む際に記述することができる。(ディプロマ・ポリシー④⑤に相当する) ③ 文法が以前よりも分かるようになり、様々な文章に対応し読むことができる。(ディプロマ・ポリシー④⑤に相当する) ④ 単語数を増やすことで、世界の情勢等のニュースを調べることができる。(ディプロマ・ポリシー②③⑤に相当する) ⑤ 授業に真面目に取り組み、予習・復習などの学習習慣をつけることができる。(ディプロマ・ポリシー①に相当する)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	<ul style="list-style-type: none"> 予習をする。TOEIC450点（そのうちリーディングは200点）を目指して、教科書とは別に、自分でも問題集を購入するなどして、日頃から努力をすることができる。 復習をして、できなかったところをしっかりと覚えることができる。 pisa型学力が上がるように、進んで努力することができる。
	働きかけ力	
	実行力	<ul style="list-style-type: none"> 授業内の課題、予習・復習、宿題などを着実に実行することができる。 努力の結果、以前よりも点数を上げることができる。
考え抜く力	課題発見力	<ul style="list-style-type: none"> 自分にとっての課題を認識することができる。（なぜ間違えたのかを理解して復習し、次につなげることができる。）
	計画力	
	創造力	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の枠を越えて、英語の考え方に想いをめぐらせることができる。 日常の場面、将来出会うだろう場面を想像しながら、問題を解くことができる。
チームで働く力	発信力	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手を意識して、相手の目を見て（アイコンタクト）、はっきりと話すことができる。 全員で発話する機会、個人で発表する機会があれば、しっかりと発信を行うことができる。
	傾聴力	<ul style="list-style-type: none"> 集中して、問題を解き、また、他者の説明や発表を聴くことができる。そして、聴いたことを生かすことができる。 指示をよく聞いて、作業を行うことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：スポーツの世界と英語の基礎固め Mark Thompson・谷岡敏博 英宝社、2021年。2,200円（税込）
プリントも適宜利用します。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：TOEICリスニング、
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
普段から、英語の文法を復習するようにしてください。（英語の学力は、かけた時間と多少し相関があります。） 予習・復習をしっかりとしましょう。分からないところはそのままにしないできちんと理解しておきましょう。 家でもTOEICの問題集をやるなどして、問題に慣れましょう。 欠席をして行わなかった課題やアクティビティがあると、その分点数も下がります。欠席はしないようにしましょう。	授業に積極的に参加してください。基本的なルール（無断欠席、遅刻、居眠り、私語をしないなど）を守ってください。 携帯電話の電源は切り、カバンに入れておきましょう。 受講者は、TOEICのIPテストをみなで受験します。 交換留学に応募したい場合には、TOEICが必要になる場合があるので、受講をお勧めします。 高校の時に使っていた英語の辞書を持ってくるといいと思います。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	20	①	✓	小テスト、宿題、課題などにより、平常の努力を評価する。 *毎週の小テストの点数の平均、クラスルームや紙の宿題の提出状況を中心に、課題の行い方、復習の程度、知識の定着度なども加味する。 *小テスト、宿題、課題としては、pisa型学力の「知識・情報等の資源を獲得する力、活用する力、ならびに、活用して解決する力」が発揮できているかどうかを評価できるものを出す。
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
		レポート	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	70	①	✓	授業で習った内容が理解できた結果として、問題を解くことができる（正答することができる）。 *TOEICのIPテストの点を評価します。到達目標の達成に日頃から努めましょう。 ①毎回問題を解いていくことで、問題に慣れる。 ②TOEICのリーディングの点数を少しでも上げることができる。 ③文法が以前よりも分かるようになり、まとまった文章を読むことができる。 ④単語数を増やすことができる。 ⑤授業に真面目に取り組み、予習・復習などの学習習慣をつけることができる。		
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
		⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<small>(主体性)</small> ・準備をする。TOEIC450点（そのうちリーディングは200点）を目指して、教科書とは別に、自分でも問題集を購入するなどして、日頃から努力をすることができる。 ・復習をする。できなかったところをしっかりと覚えることができる。 ・pisa型学力が上がるように、進んで努力することができる。 <small>(実行力)</small> ・授業内の課題、予習・復習、宿題などを確実にこなすことができる。 ・努力の結果、以前よりも点数を上げることができる。 <small>(課題発見力)</small> ・自分にとっての課題を認識することができる。（なぜ間違えたのかを理解して復習し、次につなげることができる。） <small>(創造力)</small> ・日本語の枠を越え、英語の考え方に思いをめぐらせることができる。 ・日常の場面、将来出会うであろう場面を想像しながら、問題を解くことができる。 <small>(発信力)</small> ・聞き手を意識して、相手の目を見て（アイコンタクト）、はっきりと話すことができる。 ・全員で発話する機会、個人で発表する機会があれば、しっかりと発信を行うことができる。 <small>(傾聴力)</small> ・集中して、問題を解き、また、他者の説明や発表を聴くことができる。そして、聴いたことを生かすことができる。 ・指示をよく聞いて、作業を行うことができる。 <small>(規律性)</small> ・遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)はTOEIC IPテスト(団体テスト)でのリーディングが250点以上であること。 小テストで平均80点以上を得ていること。 A(優)はTOEIC IPテスト(団体テスト)でのリーディングが200点以上であること。 小テストで平均80点以上を得ていること。	B(良)はTOEIC IPテスト(団体テスト)でのリーディングが180点以上あること。 小テストで平均70点以上を得ていること。 C(可)はTOEIC IPテスト(団体テスト)でのリーディングが150点以上あること。 小テストで平均60点以上を得ていること。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・ガイダンス Unit 1 Major League Baseball be 動詞 (現在形と過去形)の導入	講義・演習 (問題を解く) ・前回学習したことの 小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。	・ガイダンスをきちんと理解する。 ・小テスト60点以上をとる。	(予習)Vocabulary Checkingを解き単語・品詞・を確認する。 (復習)単語の復習と文の構造を意識しながら本文をもう一度読む。 PCを使い自分の興味のある英語の新聞等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	Unit 2 Shohei Otani "It's Sho Time" 動詞・時制1 (現在形)の導入	・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) (必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。) ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	(予習)Vocabulary Checkingを解き単語・品詞・を確認する。 (復習)文法項目で分からなかった部分を辞書や文法書等を用いて復習する。 PCを使い自分の興味のある英語の新聞等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	Unit 3 NBA 助動詞の導入	・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) (必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。) ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	(予習)Vocabulary Checkingを解き単語・品詞・を確認する。 (復習)単語の復習と文の構造を意識しながら本文をもう一度読む。 PCを使い自分の興味のある英語の新聞等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	Unit 4 Rui's Road to the NBA 助動詞の導入	・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) (必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。) ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	(予習)「英文法の基礎」の解説を読んで疑問点をまとめる。 (復習) 文法項目で分からなかった部分を辞書や文法書等を用いて復習する。 PCを使い自分の興味のある英語の新聞等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	Unit 5 Football Most Popular Sport in USA 進行形の導入	・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) (必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。) ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	(予習)Vocabulary Checkingを解き単語・品詞・を確認する。 (復習)単語の復習と文の構造を意識しながら本文をもう一度読む。 PCを使い自分の興味のある英語の新聞等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	Unit 6 Super Bowl 受動態の導入	・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) (必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。) ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	(予習)「英文法の基礎」の解説を読んで疑問点をまとめる。 (復習) 文法項目で分からなかった部分を辞書や文法書等を用いて復習する。 PCを使い自分の興味のある英語の新聞等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	Unit 7 Wimbledon 現在完了形の導入	・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) (必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。) ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	(予習)「英文法の基礎」の解説を読んで疑問点をまとめる。 (復習) 文法項目で分からなかった部分を辞書や文法書等を用いて復習する。 PCを使い自分の興味のある英語の新聞等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	Unit 8 Naomi Osaka-Love 不定詞(to+動詞の原形)の導入	・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) (必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。) ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	(予習)「英文法の基礎」の解説を読んで疑問点をまとめる。 (復習) 文法項目で分からなかった部分を辞書や文法書等を用いて復習する。 PCを使い自分の興味のある英語の新聞等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	Unit 9 Tiger Wood's Legend Goes On 比較の表現1 (比較級)の導入	・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) (必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。) ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	(予習)Vocabulary Checkingを解き単語・品詞・を確認する。 (復習)単語の復習と文の構造を意識しながら本文をもう一度読む。 PCを使い自分の興味のある英語の新聞等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	Unit 10 Hinako Shibuno-smiling Cinderella 比較の表現2 (最上級)の導入	・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) (必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。) ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	(予習)「英文法の基礎」の解説を読んで疑問点をまとめる。 (復習) 文法項目で分からなかった部分を辞書や文法書等を用いて復習する。 PCを使い自分の興味のある英語の新聞等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	Unit 11 Carl Lewis Sportsman of the Century 関係代名詞の導入	・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) (必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。) ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	(予習)Vocabulary Checkingを解き単語・品詞・を確認する。 (復習)単語の復習と文の構造を意識しながら本文をもう一度読む。 PCを使い自分の興味のある英語の新聞等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	Unit 12 Sani Brown Loves Sunny Florida 形容詞と副詞の導入	・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) (必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。) ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	(予習)「英文法の基礎」の解説を読んで疑問点をまとめる。 (復習) 文法項目で分からなかった部分を辞書や文法書等を用いて復習する。 PCを使い自分の興味のある英語の新聞等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	Unit 13 Yuzuru Hanyu-Prince on Ice 分詞 (doing&done) の導入	・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) (必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。) ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	(予習)Vocabulary Checkingを解き単語・品詞・を確認する。 (復習)単語の復習と文の構造を意識しながら本文をもう一度読む。 PCを使い自分の興味のある英語の新聞等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	Unit 14 King Kazu-J. League Pioneer 前置詞の導入	・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) (必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。) ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	(予習)「英文法の基礎」の解説を読んで疑問点をまとめる。 (復習) 文法項目で分からなかった部分を辞書や文法書等を用いて復習する。 PCを使い自分の興味のある英語の新聞等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	Unit 15 Gender Inequality in Sports itの用法と否定	オンデマンド ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。)	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組む。	(復習) ・総復習 ・苦手部分を見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力